

## 2

## 代金決済



- 1 代金の支払い方法にはどんなものがあるのだろう？
- 2 現金で支払いができないときはどうすればよいのだろう？
- 3 電子マネーとはどんなものだろう？

すでに学んだように、売買取引は、商品が買い手に引き渡され、<sup>わた</sup>代金が売り手に支払われて完結します。ここでは、一般的に企業間の取引に用いられる現金通貨・小切手・約束手形・<sup>かわせ</sup>為替手形、クレジットカードによる<sup>ふりかえ</sup>預金の振替などの<sup>とく</sup>預金通貨などの支払用具の特色やしぐみについてみてみましょう。

5

## 1 現金通貨

① 「日本銀行法」に定められています。

② 「通貨の単位及び貨幣の発行等に関する法律第7条」に定められています。

## Word

## \*1 強制通用力

法により、最終的な支払手段として通用することが認められた効力を**強制通用力**といいます。この強制通用力は、紙幣に対しては無制限に付与されていますが、補助貨幣に対しては制限があります。たとえば、10円玉だけで支払う人に対し、200円までは受け取りを拒否することはできませんが、21枚を超えた場合には、受け取る側は拒否することができます。

③ 金銭などの出し入れを出納といいます。

**現金通貨**は、日本銀行が発行する**紙幣**（日本銀行券<sup>①</sup>）と、政府が発行する**補助貨幣**<sup>②</sup>（一般的に硬貨といいます）に分けられます。

紙幣は、すべての支払いに無制限に使用できます。これに対し補助貨幣は、<sup>がくめん</sup>額面金額の20倍までに制限されており、紙幣の補助として少額の支払いに用いられます。

10

## 2 小切手

**小切手**<sup>check</sup>とは、銀行などに当座預金をしている人が、その銀行などに対して、小切手を持参した人に、自分の当座預金から小切手に示された金額を支払うよう委託する証券です。

15

代金の支払いに小切手を用いれば、<sup>すいとう</sup>出納に手間がかからず紙幣の数えまちがいがないこと、多額の現金通貨を手もとに置いたり運んだりする危険や手間がはぶけること、紛失や盗難<sup>とうなん</sup>にあった場合も被害を防ぎやすいこと、すぐに現金化できることなど利点が多くあります。

20

## 1 小切手の振り出し

商品代金の支払いなどで小切手を使うためには、まず、銀行に当座預金の口座を開設することが必要です。当座預金は、<sup>あず</sup>預け入れに当座勘定入金票を用い、引き出しに小切手や手形を用いる預金です。<sup>①</sup>

- 5 口座を開設すると銀行から小切手用紙をつづった小切手帳が交付されます。小切手用紙に必要事項<sup>②</sup>を記入し、署名または記名<sup>③</sup>、押印<sup>④</sup>して相手に<sup>わた</sup>渡すことを、振り出しといいます。

## 2 小切手の受け取り

- 10 商品代金などで受け取った小切手は、小切手の裏面<sup>うらめん</sup>に住所と氏名を記入し、押印して支払銀行に<sup>ていじ</sup>呈示すれば、小切手金額の支払いを受けることができます<sup>⑤</sup>。なお、受け取った小切手の支払いが受けられるのは、原則として、小切手を振り出した日（振出日）の翌日から10日以内とされています。<sup>⑥</sup>

① おもに代金決済を目的とした預金であり、法律（臨時金利調整法）により利息をつけることが禁じられています。

② 小切手の必要の記載事項。

- ①小切手文句
- ②小切手金額と支払委託文句
- ③支払人の名称
- ④支払地
- ⑤振出地と振出日
- ⑥振出人の署名  
(折込「小切手」参照)

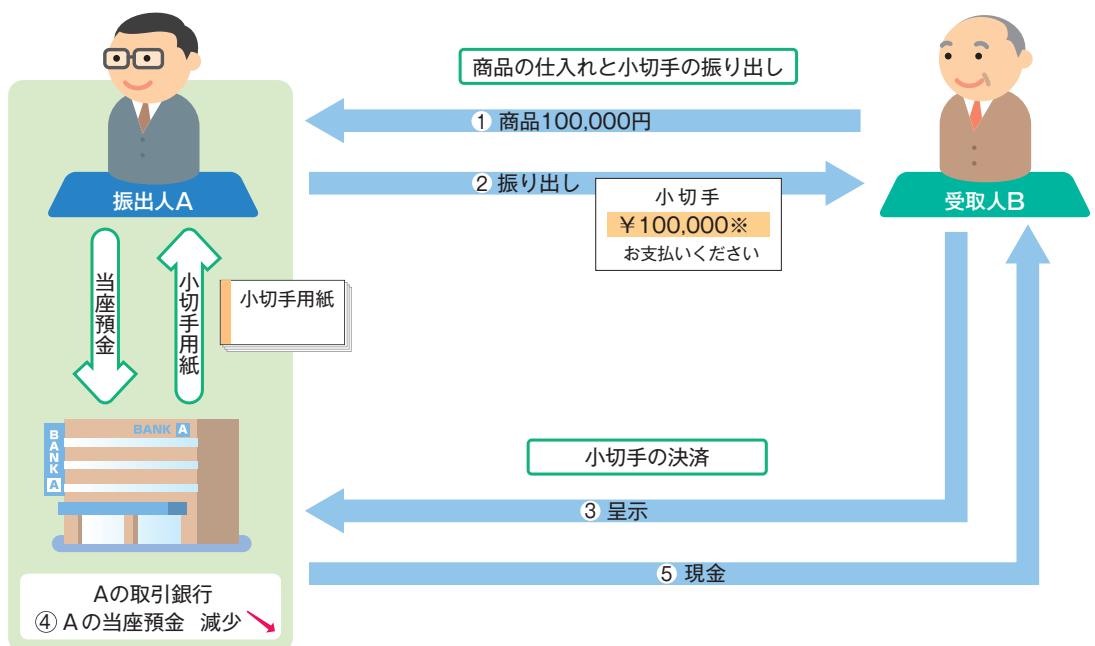
③ 本人が姓名を自筆することを署名、ゴム印などを使うことを記名といいます。

④ 押印は振出人が支払銀行に事前に届けている届出印を使用します。

⑤ 取引銀行に取り立てを依頼し、自分の預金口座に預け入れる方法もあります。

⑥ 10日目が銀行の休業日であれば、その翌日になります。

### ■小切手のしくみ ●受取人Bが現金で支払いを受ける場合



### 3 小切手の不渡り

振り出された小切手金額に対して、当座預金の金額が不足している場合は、支払銀行はその小切手の支払いを拒絶します。これを**不渡り**といいます。小切手が不渡りになると受取人に損害を与えるだけではなく、振出人は取引先などの信用を失い会社の通常業務ができなくなり、事業の継続が難しくなります<sup>①</sup>。このような事態を避けるため、当座預金残高を超えてあらかじめ契約した限度額までの小切手の振り出しが認められる当座貸越契約が銀行と結ばれます。

▶p.92

① 不渡りを6か月以内に2度出すと、2年間銀行との当座勘定取引と貸出取引が停止されます。

### 4 小切手の事故を防ぐには

小切手の不渡りや、盗難・紛失などの事故を防ぐ方法として、次のものがあります。

#### 1 自己あて小切手 (自行あて小切手)

支払銀行が振出人になっている小切手で、新規の取引で信用がない場合に、前もって銀行に現金を預け、それをもとに銀行が振出人になって小切手を振り出します。この小切手を自己あて小切手といい、銀行が支払人となるので不渡りの恐れがありません。

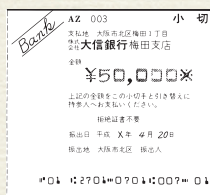
#### 2 線引小切手

小切手は持参人払いといって、小切手を持参した人に支払われるので不正に換金される恐れがあります。それを防ぐために、**線引小切手**にする方法があります。

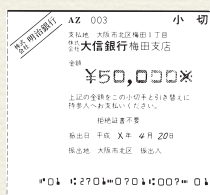
① **一般線引小切手** 小切手の表面に2本の平行線を引くか、その平行線のなかに「Bank」などと記入します。これにより、支払銀行は、ほかの銀行か自行の取引先にしか支払いをせず、一般の持参人には支払わないので小切手の不正使用を防げます。

② **特定線引小切手** 表面の2本の平行線のなかに特定の銀行名を記入した小切手です。支払銀行は、記載された銀行を通じなければ支払いをしないので、一般線引小切手よりもさらに安全です。

#### ② 一般線引小切手



#### ③ 特定線引小切手



## 3 約束手形

**約束手形**は、振出人が受取人（名あて人）に、一定の期日に、一

promissory note



定の金額を支払うことを約束した証券です。商品代金の支払いに約束手形を利用すると、支払期日までの間、資金の準備にゆとりができます。また、受取人はほぼ確実に支払いを受けることができるという利点もあります。

## 1 約束手形の振り出し

商品代金の支払いなどで、約束手形を振り出すには、約束手形用紙に必要事項を記入して、署名または記名、押印して相手に渡します。なお、約束手形には、印紙税法により、手形金額に応じて収入印紙をはり、消印をすることになっています。

## 2 約束手形の受け取り

商品代金などで約束手形を受け取った場合には、受取人は、その手形の支払期日（満期日）がきたら、手形の裏面の受取欄に署名または記名、押印して、支払人に呈示し、これと引き換えに手形金額の支払いを受けます。この呈示は原則として、支払期日か、その翌日から2日以内に行わなければなりません。呈示は支払場所に指定されている銀行にいけばよいのですが、一般的には取引銀行に取り立てを依頼します。取り立てとは、取引銀行を通して支払人に手形を呈示し、手形代金の支払いを受けることです。

① 約束手形の必要的記載事項。

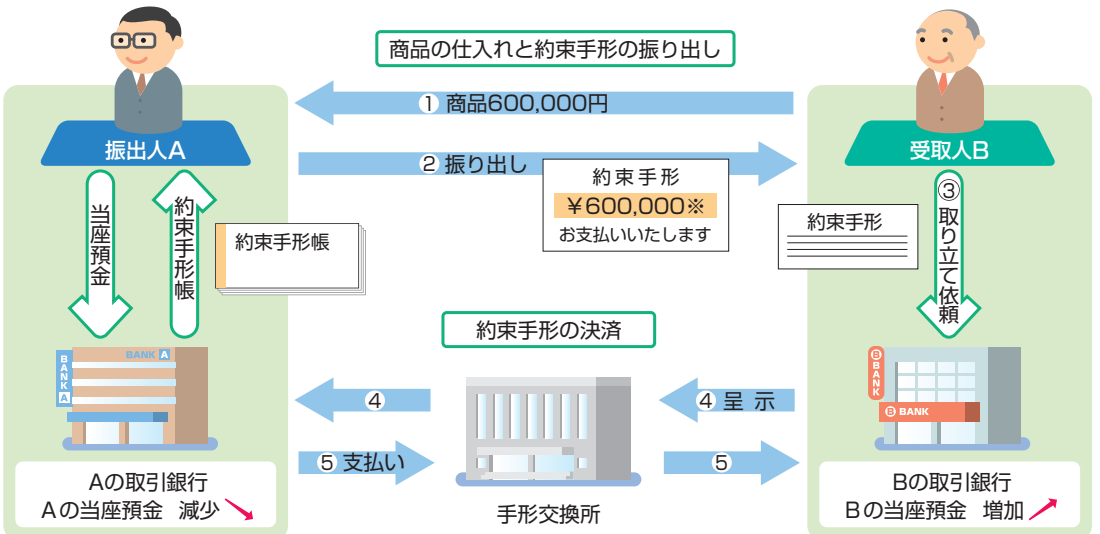
- ① 約束手形文句
- ② 手形金額と支払約束文句
- ③ 支払期日
- ④ 支払地
- ⑤ 受取人の名称
- ⑥ 振出地と振出日
- ⑦ 振出人の署名  
(折込「約束手形」参照)

② 〈手形にはる収入印紙の金額〉

▼手形金額	▼印紙税額
10万円未満	非課税
100万円以下	200円
200万円以下	400円
300万円以下	600円
500万円以下	1,000円
1,000万円以下	2,000円
2,000万円以下	4,000円
3,000万円以下	6,000円
5,000万円以下	10,000円
1億円以下	20,000円
2億円以下	40,000円
3億円以下	60,000円
5億円以下	100,000円
10億円以下	150,000円
10億円超	200,000円

③ 銀行が営業を行わない土曜日、日曜日、祝日などを除きます。

### ■約束手形のしくみ



① 手形の支払期日より前に、銀行に手形を持ち込み、支払期日までの金利や手数料などを差し引いた現金を受け取ることをいいます (▶ p.92)。

なお、商品代金などの回収をいそぐ場合には、取引銀行でその手形の割引<sup>①</sup>を受けたり、他人に譲渡<sup>じやうと</sup>して商品代金などの支払いにあてたりできます。手形を他人に譲渡する手続きを裏書き<sup>うらが</sup>といい、手形の裏面に必要事項を記入し、署名または記名<sup>おういん</sup>、押印します。裏書きによって、手形上の権利は、裏書人(譲渡した人)から被裏書人(譲渡を受けた人)に移ります。

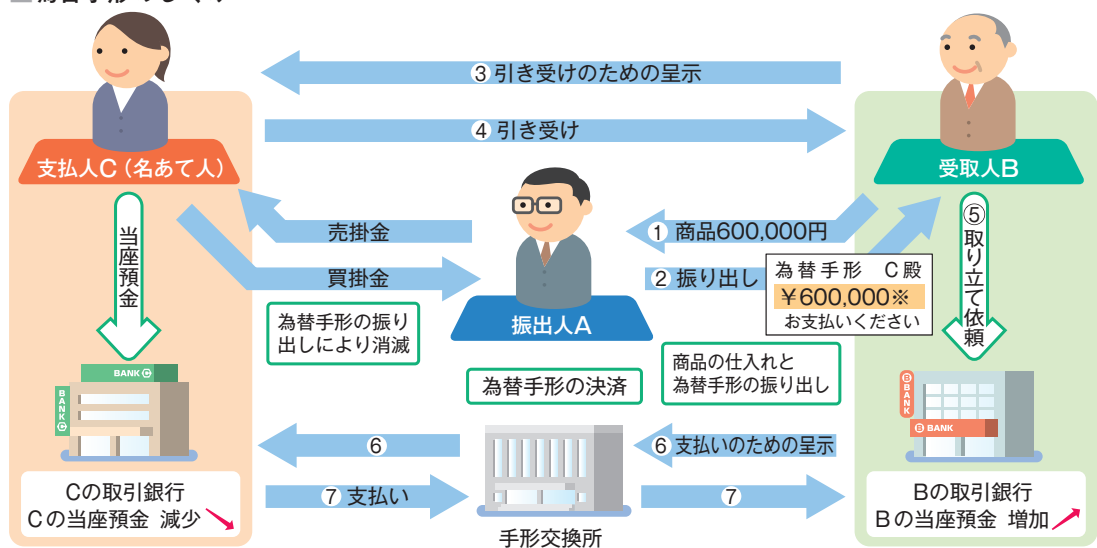
### 3 約束手形の不渡り

支払期日に、支払人の当座預金が不足していると、手形は不渡りになります。不渡手形の所持人は、自分に対する裏書人、またはそれ以前のすべての裏書人に対して手形金額の支払いを請求<sup>せいきう</sup>できます。これを遡求<sup>さうきう</sup>(償還請求)といえます。

## 4 為替手形

為替手形<sup>かわせ</sup>は、振出人が支払人(名あて人)に対して、一定期日に一定の金額を受取人に支払うように委託<sup>いたく</sup>した証券です。約束手形と違って、<sup>ちが</sup>「振出人」が支払人となるのではなく、振出人に対して債務<sup>さいむ</sup>がある「名あて人」が支払人となるものです。

#### ■ 為替手形のしくみ



## 1 為替手形の振り出し

為替手形を振り出すには、為替手形用紙に必要事項<sup>①</sup>を記入し、署名または記名、押印して受取人に渡します。

## 2 為替手形の引き受け

為替手形は、振出人から受取人に渡されるので、名あて人は、自分が支払人に予定されていることを知りません。したがって、受取人は、手形を名あて人にみせて、支払いの確認を求めます。このことを引き受けのための呈示<sup>②</sup>といいます。名あて人が支払いを承諾することを引き受け<sup>③</sup>といいます。これにより名あて人は引受人（支払人）となり、支払期日に手形金額を支払う義務が生じます。

## 3 為替手形の受け取りと不渡り

為替手形の支払いと裏書きは、約束手形と同じです。また、支払期日に手形金額が支払われないと、小切手や約束手形と同様に不渡りになります。支払人は支払期日までに当座預金口座に資金を準備しておく必要があります。

# 5 さまざまな代金決済の方法

## 1 預金の振替

預金の振替とは、支払人が、取引銀行に依頼して、支払金額を自分の預金口座から受取人の預金口座に振り替えることをいいます。口座振替の利点として、安全確実な代金決済、集金業務の効率化などがあげられます。現在では、電気・ガス・水道の料金やNHKの放送受信料の支払い、税金の納付などに広く利用されています。

## 2 銀行振込

銀行振込とは、支払人が直接受取人の銀行口座に入金することを行います。

① 為替手形の必要的記載事項。

- ① 為替手形文句
- ② 手形金額と支払委託文句
- ③ 支払人の名称
- ④ 支払期日
- ⑤ 支払地
- ⑥ 受取人の名称
- ⑦ 振出地と振出日
- ⑧ 振出人の署名

(折込「為替手形」参照)

② 一般的には、振出人が名あて人に引き受けのための呈示をし、引き受け済みの手形にして受取人に渡します。

③ 名あて人は、支払いの承諾をした場合には、手形の引受欄に署名または記名、押印します。

④ 為替手形は、実際には国際取引で多く利用され、また、支払手段というよりも取り立ての手段として多く用いられます。使用方法是、振出人が自分自身を受取人とした為替手形を振り出し（自己受け為替手形）、支払人に引き受けをさせます。これにより、相手方の手形振り出しを待たずに支払いの請求ができます。



### 3 クレジットカード

クレジットカードは、クレジットカード会社などから、会員になっている消費者に対して発行されます。会員は、商品の代金を現金通貨で支払わず、カードを提示して支払伝票に署名をしたり、カード端末に暗証番号を入力したりします。代金の決済は、支払期日に会員の預金口座から、カード会社の預金口座に自動的に振り替えられます<sup>①</sup>。なお、カード会社からは、それ以前にまとめて加盟店への預金の振替が行われ、代金が決済されています。

① 代金後払い方式です。

### 4 デビットカード

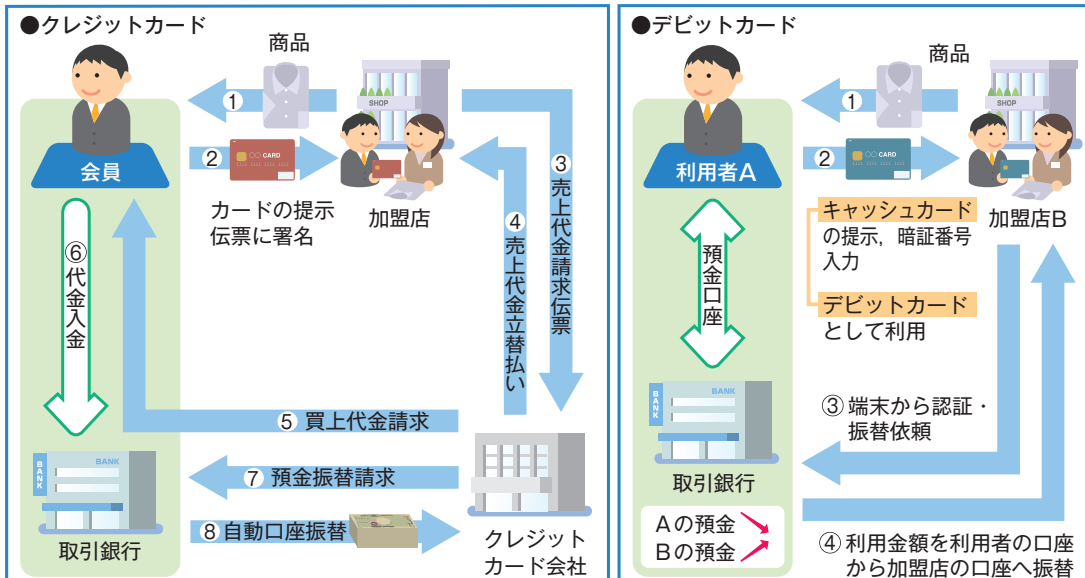
デビットカードとは、ネットワークと預金口座を通じて貨幣価値をやりとりする電子決済です。

銀行などの金融機関が発行するキャッシュカードを、代金支払いの際に店に設置してあるカード端末に挿入し、暗証番号を入力します。すると、そのデータがカードを発行している金融機関に転送され、即座に利用者の口座から代金が引き落とされます。

② 代金引き替え払い方式です。

現金を多く持ち歩かずにすみ、またすでに所持しているキャッシュカードがそのまま使えるという利点があります。

#### ■クレジットカード・デビットカードのしくみ



## 5 電子マネー

**電子マネー**とは、貨幣価値をデータ化したもので、サービスを提供<sup>electronic money</sup>する会社による私製貨幣（代用通貨など）の一種です。電子マネーには、大きく分けて**ICカード型**と**ネットワーク型**があります。

5 ICカード型とは、IC（集積回路）チップに専用端末機などであらかじめ蓄積<sup>ちくせき</sup>（チャージ）したい金額を書き込む<sup>たんまつ</sup>というもので、事前に蓄積された電子マネーが引き落とされて決済<sup>けっさい</sup>されます<sup>2</sup>。プリペイドカード<sup>ちが</sup>と違い何度でも入出金でき、また利用時に暗証番号などを入力する必要がなく、簡単に使用することができます。

10 ネットワーク型<sup>3</sup>とは、カードを発行せず、パソコンに特別のセキュリティソフトを組み込んだうえでパソコン上にお金の情報を書き込み、残高を記録するものです。

電子マネーを利用すれば、ネットワーク上で取引の決済まで行<sup>おこな</sup>うことが可能になるため、ネットショッピングの決済に便利<sup>4</sup>です。

15 最近では、後日、預金口座から利用代金を引き落とされる後払い方式の電子マネーもあります。

① ICカードには、金額のほか、使用した日時などの情報も同時に書き込まれます。

② 代金前払い方式です。

③ ソフトウェア型ともいわれます。

④ 近年、代金決済の方法として現金を使用しないキャッシュレス化が進んでいます。

### ■ 便利な電子マネー

ICカード型電子マネーは、鉄道の利用を中心に普及しました。ここにちでは、買い物代金の精算などさまざまな場面で利用することができます。



改札機で自動精算



くり返し入金機能



買い物代金の精算







**電子記録債権**<sup>さいけん</sup>は、電子記録債権法によって制度化された債権で、売掛金や受取手形などとは異なる新しいタイプの債権です。電子記録債権は、国から認可を受けて設立された電子記録債権機関が、コンピュータ上で債権者名・債務者名・支払額・支払期日などの情報を管理するため、紛失したり、盗難<sup>とうなん</sup>にあたりたりする危険はありません。

電子記録債権の取引は、電子記録債権の発生・譲渡・消滅の三つに大きく分けられます。

### (1) 電子記録債権の発生

取引によって生じた債権を電子記録債権とするためには、債権者と債務者の双方<sup>そうほう</sup>から電子記録債権機関に「発生記録」の請求を行います。請求を受けた電子記録債権機関が、記録原簿に「発生記録」を行うと電子記録債権が発生します。

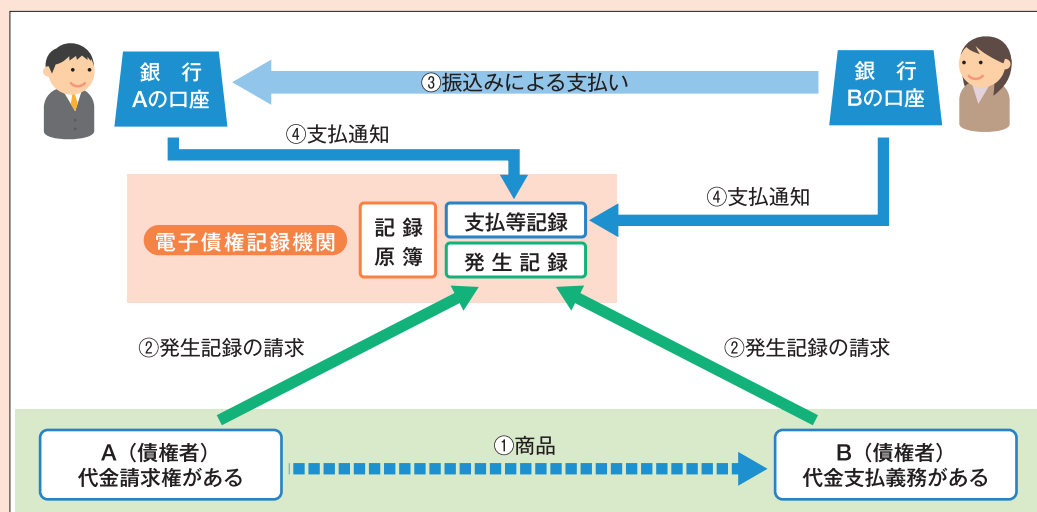
### (2) 電子記録債権の譲渡

電子記録債権を譲渡するためには、譲渡人と譲受人の双方から電子記録債権機関に「譲渡記録」の請求を行います。請求を受けた電子記録債権機関が、記録原簿に「譲渡記録」を行うと電子記録債権が譲渡人から譲受人に譲渡されます。

### (3) 電子記録債権の消滅

銀行などを利用して債務者口座から債権者口座に振込みによる支払いが行われると、電子記録債権は消滅します。そのことを銀行などは、電子記録債権機関に通知します。通知を受けた電子記録債権機関は、遅滞なく「支払等記録」を行います。

下図は、AがBに商品を販売したときに生じる代金請求権を電子記録債権としたときの取引を示しています。下図の②で電子記録債権が発生し、③によって電子記録債権が消滅しています。



## 確認問題

### 代金決済

1—次の文章を完成させましょう。

- (1) 現金通貨は、日本銀行が発行する(① )と、政府が発行する(② )に分けられます。
- (2) (③ )とは、貨幣価値をデータ化したもので、サービスを提供する会社による私製貨幣の一種です。これには、(④ )とネットワーク型があります。